

【鳴門市行政評価】

平成27年度事務事業評価シート(26年度実績)

◎基本情報

事務事業名		地域医療を考えるための医療連携強化事業		担当部署	健康福祉部 健康政策課	
総合計画体系				根拠法令 計画など		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じる まちづくり		事業 期間	開始	平成 <input type="text" value="26"/> 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なる			終期	<input type="text" value="未定"/>
(小項目)		保健・医療				
施策	7	健康・医療対策の推進				
基本事業	4	医療の充実				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民、医療機関等						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	医療は限りある資源であることを市民が認識し、地域医療を守るために市民や医療機関、市がしなければならないことを認識することができる。						
事業計画	26年度に何を計画していたか	市民ワークショップの開催や条例策定に向けての審議会の立ち上げ等を行う。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位
		連携事業の参加者数	350	350	250	250	250	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	26年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	鳴門病院と連携をして、市民向けの健康に関する実践講座を開催するとともに、鳴門病院の理学療法士が地域に出向いて健康教室を開催している。 地域の医療を地域で守るための条例を策定するにあたり、市民の意見を聞くためのワークショップを3回開催した。また、条例策定審議会委員を選定・委嘱し、第1回審議会を開催した。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 理学療法士による健康教室の開催回数	8	8	3	3	3	回
	2 市民向け実践講座	1	1	1	1	1	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	連携事業の参加者数	378	364	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)		104.0	—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況			計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成26年度	当初予算額	0	0	0	0	301	301
		全体予算額	0	0	0	0	301	301
		決算額	0	0	0	0	252	252
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(6,878千円/人)	臨時職員(2,023千円/人)		総人件費		総事業費	
		0.1			688	940		

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：地域医療を考えるための医療連携強化事業】  
(千円)

事業費推移	年度	25年度決算	26年度決算	27年度	28年度	29年度
	事業費	145	252	487	1,299	
	うち一般財源	145	252	487	1,299	
	人件費	652	688	688	688	
	総事業費	797	940	1,175	1,987	

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		鳴門病院との連携事業については、毎回テーマを決めて実施しているが、100名以上の参加者があり、市民の関心も高く有効性が高いと考える。
	効率性	B:概ね効率的だった		連携事業については開催回数や打ち合わせの時間短縮など、効率的に開催ができていると考える。
②成果に対する評価	指標名	連携事業の参加者数		鳴門病院との連携事業が市民の間で定着しつつあることや、地域の中で参加の呼びかけ等に協力してくれる団体等もあることなどが成果に繋がっていると考える。
	目標	350	人	
	実績	364	人	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		B		連携事業や地域の医療を守る条例策定については国の施策や社会状況の変化などに伴う対応が求められる。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	条例策定に向けて基本方針を明確にすると共に、十分な審議が尽くされるように進捗状況を管理しながら進めていくことが必要である。また、条例を策定することが最終目標でないことを十分認識するとともに、策定後市民への周知、啓発等についても念頭におきながら進めることが必要である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H27年度	条例策定に向け、スケジュール管理を行いながら円滑に進めていく。 鳴門病院との連携事業は平成26年度に引き続き、実施する。テーマ等については現在検討中である。			
	H28年度	条例策定後に市民向けのフォーラムの開催や市民への啓発活動などを実施していく。			